



国民春闘共闘

第 46 号

2019 年 6 月 18 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2019 年夏季一時金 第 2 回集計

単純平均 2.06 ヶ月 745,556 円、加重 714,388 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 6 月 14 日、2019 年の夏季一時金第 2 回集計を行い 21 単産部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2019 年	2018 年同期
登録組合数	719	734
回答組合数	302 (42.0%)	392 (53.4%)
うち上積み獲得	51 (16.9%)	64 (16.3%)
うち妥結組合数	82 (27.2%)	163 (41.6%)

<回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2019 年	2018 年同期	(前年比)
単純平均	月数	2.06	1.99	+0.07
	額 (円)	745,556	672,169	+73,387
加重平均	額 (円)	714,388	659,445	+54,943
	組合員数 (人)	54,761	111,880	

* 額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	うち前年実績以上	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額 (円)	150	93 (62.0%)	752,669	748,798	3,871
	月数	217	191(88.0%)	2.06	2.06	±0

<非正規の仲間の回答状況>

		非正規・時給制	非正規・月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額 (円)	47,622	112,696	27,501	161,458
	月数	0.759	1.088	0.564	1.449

* 額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

2019 年度の夏季一時金の第 2 集計には、21 単産・部会から報告が寄せられ、登録 719 組合のうち 302 組合が回答を引き出しています。回答引き出し率は 42.0%となっています。日本医労連の組合で 5 次回答を引き出しているのははじめ、2 次回答以上の上積み回答を引き出したのは 51 組合・16.9%となっています。妥結組合は 82 組合、妥結率は 27.2%となっています。

全体の回答内容

月数回答のあった 265 組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は 2.06 ヲ月で、前年同期（2018 年 6 月 22 時点）の 1.99 ヲ月を 0.07 ヲ月上回っています。また、金額回答のあった 169 組合での単純平均額は 745,566 円で、前年同期（672,169 円）を 73,397 円上回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は 714,388 円で前年同期（659,445 円）から 54,943 円増となっています。

月数では、民放労連（6 組合）、出版労連（3 組合）の 9 組合が 3.5 ヲ月以上の回答を引き出しています。また、額では民放労連（2 組合）、出版労連（3 組合）が 200 万円以上の回答を引き出したのははじめ、計 28 組合が 100 万円以上の高額回答を引き出しています。

前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な 150 組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると 752,669 円で、前年実績を 3,871 円上回っています。150 組合のうち前年実績額以上の回答を勝ち取っている組合は 93 組合（62.0%）となっています。一方で、月数で同一組合対比可能な 217 組合の単純平均月数は 2.06 ヲ月で前年実績と同月数となっています。

大手企業が、経済の先行き不透明感などを口実に一時金の支給を削減する中で、ほぼ前年並みの回答水準を確保している状況と言えます。春闘期の賃金改定が、人手不足・人材確保難にもかかわらずほぼ前年並みにとどまっていることに対する職場の不満をエネルギーに粘り強い交渉がもめられます。

パートなど非正規の仲間の一時金

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の 11 単産 108 組合から 179 件の獲得報告が寄せられています。このうち、パートやアルバイトなど時給制労働者の一時金獲得は、生協労連（45 件）、日本医労連（21 件）をはじめ、建設関連、JMITU、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連の組合から 88 件の獲得報告となっています。月数報告のあった 71 組合の単純平均は 0.759 ヲ月、金額報告のあった 28 組合の単純平均は 47,622 円となっています。前年比較可能組合でみると、月数では前年を若干下回り、金額では 2,085 円上回る結果となっています。

月給制労働者では、生協労連で 30 件をはじめ、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連、特殊法人労連での獲得となり、月数の単純平均で 1.088 ヲ月、金額で 112,696 円となっています。前年比較可能組合では、金額で 157 円の微減となっています。月数では、1.103 ヲ月と前年実績を 0.021 ヲ月上回っています。

時給制の継続雇用者では、生協労連で 10 件の引き出しとなっています(前回調査と同じ)。金額の単純平均で 27,501 円、月数では 0.564 ヶ月となっています。

月給制の継続雇用者では、JMITU、通信産業本部、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、特殊法人労連で 47 件の引き出しとなっています。金額の単純平均で 161,458 円、月数で 1.449 ヶ月となっています。

●経団連の回答集計 (6/11)

対象企業		2019 年	前年妥結額
83 社	単純平均	779,962 円	793,564 円
	加重平均	942,306 円	964,344 円

※調査対象は東証一部上場、従業員 500 人以上、主要 21 業種の 251 社。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8 時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍 9 条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**